

2025 年 10 月 6 日

報道関係者各位

福井県永平寺町
ふくいヒトモノデザイン株式会社

**福井県永平寺町、「グリーン・デスティネーションズ Top100 ストーリー2025」に選出
～福井県初の快挙、持続可能な観光の国際認証を獲得～**

福井県永平寺町はこのたび、国際的な優良事例コンペティション「グリーン・デスティネーションズ Top100 ストーリー2025(Green Destinations Top100 Stories)」において、持続可能な観光の国際的な取組事例として選出されました。

この選出は、オランダに本部を置く国際認証団体「グリーン・デスティネーションズ(Green Destinations)」が主催するもので、2025 年版として世界各地から 100 地域が選ばれています。

今回の選出は、福井県内で初となるものであり、永平寺町における、地域社会と調和した観光への取組みが、今回の選出を通じて国際的に紹介される機会となりました。

申請にあたっては、福井県内の各地域と連携し持続可能な観光地づくりに取り組むふくいヒトモノデザイン株式会社(株式会社福井銀行 100%出資のグループ会社)が、永平寺町において、地域資源の棚卸しや申請書類の作成などを行いました。株式会社福井銀行は、「地域価値」の向上による持続可能な地域社会の実現のため、福井銀行グループ全体による「地域課題解決」ソリューションを提供しています。本件においても、地方公共団体さまへのソリューション提供の一環とした取組みです。

永平寺町では、観光を通じた地域の経済循環を強化するため、滞在時間や地域内消費額の向上を目指し、稼ぐ観光地域づくりに取り組んでいます。

特に 2024 年春に開業した北陸新幹線の福井県内延伸により、来訪者の増加が見込まれる中、地域の文化や自然、そして住民の暮らしと調和する観光地づくりを目指して取り組んできました。

今後は、国際的なネットワークを通じて情報発信や知見の共有が進み、地域内外への理解促進と、持続可能な観光のさらなる推進が期待されます。

また、今回の受賞は、地域の取組みが世界に向けて広く紹介されることで、観光を通じた地域課題の解決や、持続可能なまちづくりの促進、地域への誇りと自信の醸成といった社会的な意義を持つものといえます。

【本件に関する問い合わせ先】

(永平寺町の観光に関すること)

福井県永平寺町商工観光課

担当者:寺岡、伊藤

電話番号:0776-61-3921

メールアドレス:kankou@town.eiheiji.lg.jp

(グリーン・デスティネーションズ全般および本件受賞に関すること)

ふくいヒトモノデザイン株式会社

担当者:加藤、小畑

電話番号:0776-88-0011

メールアドレス:fhmd001@fukuhihmd.co.jp

【参考】

■グリーン・デスティネーションズ Top100 ストーリーについて

「グリーン・デスティネーションズ Top100 ストーリー(Green Destinations Top 100 Stories)」は、世界各国の観光地における持続可能な観光に関する取組みを“ストーリー”として募集・審査し、優良事例として毎年 100 件を選出・公表する国際的プログラムです。

選出された地域は、世界に向けて情報発信され、国際的な観光の実践事例として注目されます。

■国際認証機関グリーン・デスティネーションズとは

グリーン・デスティネーションズ(Green Destinations)は、持続可能な観光に関する国際的な認証・支援を行うオランダ拠点の非営利団体です。

同団体は、グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会(GSTC)が承認した基準に基づいて評価を行う GSTC 認定の認証機関です。

■持続可能な観光とは

持続可能な観光とは、地域の自然、文化、伝統、住民の暮らしを守りながら旅行者を受け入れ、地域経済の活性化と環境・社会・文化の保全を両立させる観光のあり方です。

地域にとっても、旅行者にとっても、持続的に価値のある関係性を築くことが重要です。

■サステナブル・ツーリズムの動向

近年、サステナブル・ツーリズムという概念が大きな広がりを見せています。国連世界観光機関(UNWTO)によれば、サステナブル・ツーリズムとは「訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光」

を意味します。言い換えれば、旅行者、観光関係事業者、受け入れ地域にとって、「環境」「文化」「経済」の観点で、持続可能かつ発展性のある観光を目指すということです。

地域を訪問する旅行者が急増する中で、観光が地域社会・経済に与える効果とともに、過度に旅行者が集中する地域においては、自然環境やそこで暮らす人々の生活に与える問題などの負の影響も明らかになってきました。それらの課題に対し、各地域に暮らす生活者とその地を訪れる観光客の両方にとって、より良い地域づくりを目指す機運が日本国内で高まっています。また、旅を通じて地域社会の文化や経済、環境にポジティブな影響を与えたい、旅行先や宿泊先、移動手段について、よりサステナブルな選択をしたいと考える旅行者が増えていることが明らかになっています。

こうした中、観光庁も 2018 年に「持続可能な観光推進本部」を設置し、観光による地域課題の解決を促進。持続可能性に基づく観光地経営への関心は、国内外で年々高まっています。

■Top100 地域への選出により期待される効果

グリーン・デスティネーションズ Top100 ストーリーへの選出により、地域の取組みはグローバルに紹介され、持続可能性を重視する旅行者やメディア、観光事業者からの注目が集まります。

特に、市場別において、欧米豪州のインバウンドの個人観光客の手配を行う海外の大手旅行会社や、アジア(中国、台湾、韓国等)の教育旅行を取り扱う大手旅行会社等は、国際認証の取得地を優先的に選択する傾向があり、国内外からの観光客の誘客やメディア露出などが期待されます。

また、地域内での理念共有や観光以外の分野への波及効果も期待されており、観光を起点としたまちづくりの推進力として機能する可能性があります。